

国  
語

二〇二二年度

東京純心女子中学校入学試験問題

(二日午前 特待生選抜を兼ねる)

- 一. 解答は解答用紙に記入しなさい。
- 二. 記述問題で字数制限のある場合は、句読点・記号も一字として数えなさい。
- 三. 問題文は上下二段になっています。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

百木八枝は中学一年生。周囲の環境整備をはじめ、人のなやみを解決する「環境部」の部長をしている。部員は、親友の小見川佳乃と九十九くんを含めた三人である。そして、なやみ相談に来て以来、なぜかいつも環境部と行動を共にしている門野くんもいる。次の場面は、「同じクラスの小柴さんと友達になりたい」と相談に来た高峰さんの依頼に応え、みんなで小柴さんに会いに行くところである。

ただ部室で考えていても答えは出ない。わたしたちは連れ立って図書室に足を運んだ。そもそもいるかどうか微妙だったけど、幸い、小柴さんは図書室のカウンターの中で一人、本を読んでいた。「あの」と声をかけると、メガネの向こうから鋭い視線を向けられる。

「貸し出しですか、返却ですか」

「いえ。そうではなくて、環境部の――」

そこまで言っただけで、小柴さんはむっとしたように X をひそめた。そして、手早く本に葉を挟んでこちらをにらみつける。

「最近、同じクラスの高峰さんがやけに話しかけてくるんですけど、高峰さんをけしかけたの、あなたたちですか。迷惑です。やめてください」

それだけ言うと、彼女はまた本を開いて読書に戻ってしまった。

ダメだ。小柴さんはすっかりわたしたちを敵だと思っているらしい。関西弁のことを切り出すどころじゃなさそうだ。

聞く耳も持たない小柴さんの様子に、「いったん出直そっか」とみんなにアイコンタクトをとる。門野くんが残念そうにうなずき、九十九くんが数回瞬きをする。

でも、①佳乃ちゃんだけ、目を合わせてもくれない。佳乃ちゃんは、哀れみと怒りを足して二で割って、隠し味にさびしさを加えたみたいなの、なんとも言えない目をしていて。そして、ちらりとだけわたしの顔を見て、小さく息をついた。

ああ、佳乃ちゃんのこの表情は、よく知っている。仕方ないなあ、あたしがなんとかするか、って顔。

a 案の定、佳乃ちゃんはある種の使命感さえ帯びた表情になって、ぐっと小柴さんに詰め寄った。そして、彼女の視界を遮るように、すつと彼女が読んでいた本の上に手を差し入れる。

「……なにするんですか」

「そのへんにしといたら？ ガキっぽい言動は」

弾かれたように顔を上げた小柴さんを、氷のような目で見つめながら、佳乃ちゃんは ① にそう言った。

「よ、佳乃ちゃん、そんな言い方はさすがに……」

「悪いけどあたし、八枝みたいに偽善者じゃないぶん、優しくもないから。ごめんあそばせ」

あまりにも尊大な態度と冷やかな口調に、小柴さんの Y の色が変わった。

「いいかげんにしてください——」

「先に言っとくけど、あたしはべつにあんたが根暗で友達がいなさびしい人間だろうが、どうでもいい」

「ちよ、ちよっと佳乃ちゃん！ わたしたちはべつに小柴さんを責めにきたわけじゃないんだから！」

「八枝は黙ってて。依頼とか関係なく、あたしが個人的にいらついでんの」

「よ、佳乃ちゃんってば……」

だめだ、どんどん空気が悪くなっている。おろおろとろたえるわたしをよそに、佳乃ちゃんと小柴さんは、無言のまま静かににらみあっている。

「なあ」

b 一触即発いちしょくごくはつぱつのいやな沈黙ちんもくを破つたのは、微妙びまうに空気を読まない門野くんの一語。

「小柴って関西出身なん？」

不意に門野くんが言ったその言葉で、またその場の空気が変わった。②さつきまで不快そうにとがっていた小柴さんの目が、一瞬いっしゆんで丸くなる。そして不安ふげに揺れた。

「え、な、なんでわかったん……？」

小柴さんの口から力なく出てきたのはたった一言だったけど、それはまちがいになく、耳慣れた言葉の調子とは違ちがっていた。その言葉のしつぽを捕つかまえるように、門野くんが嬉き々として叫こゑぶ。

「やっぱりそうなんや！ うおおお！ 生関西人や！ こんな身近におった

なんて知らなかった！ ええなあ！」

小柴さんは目を見開いて、それから③思おもいつきり顔をしかめた。でも、すっかり舞まい上がっている門野くんは、その表情の変化に気づいていない。

「本場の人からしたら、俺おれの関西弁って、なんかちゃうやろ？ よかったら、俺に本場の関西弁を——」

「バカじゃないの？」

吐はき捨てるような言葉に、やっとな門野くんが凍こった空気に気がついた。

「関西弁のなにがいいの？」

門野くんは半歩下がって、言葉を選びながら慎重しんちょうに答える。

「え、えーと、そら、あれや。関西弁って、なんかこう、個性的やし」

「バカバカしい。なにが個性なの」

小柴さんはキツと眉まゆをつり上げて、門野くんをにらみつけた。そして、さつきよりも大きな声でいらだったように言い放つ。

「関西いうても県とか地域もいっぱいあるし。場所によって、ぜんぜん違ちがうし。

どどこもかしこも関西ってだけで、いっしょにせんといて」

「お、おお……」

「だいたい、関西みんなが同じなわけないやろ。ドアホ！ うちはおもろいことなんか一個も言われへんに、ノリツツコミが下手へたなだけでがっかりされても困るわ！」

そして、小柴さんは目線を落として、力なくつぶやいた。

「周りから勝手につけられた個性なんか、迷惑なだけに決まってるよ。関西弁

だって、本が好きなことだって、わたしは……、わたしは、好きでこんな個性を持つてるんじゃない。もっと明るく友達としやべったり、運動ができてクラスを中心になれたり……わたしだって、そういう人間になりたかったよ。なれなかったけど、なりたかったよ。ずっと、ずっと」

門野くんが□□な顔をして、すっかりショックを受けている。こっちはこっちでフォローしないと思っていたら、九十九くんが静かに彼の肩に手を置いた。

没个性的な自分がいやで個性を求めた門野くんと、押しつけられた個性に嫌気がさした小柴さん。④正反対なようだけど、よく似ているような気もする。

もはや半泣きになっている小柴さんを見下ろして、佳乃ちゃんが疲れたように息をついた。一歩下がって、わたしの肩を叩き、一言。

「あたし、下ーりたつと。タッチ交代。あとは部長の仕事ね」

「え、ちょ——」

待ってよ、と言おうとしたら、肩に触れた佳乃ちゃんの手に、一瞬だけ力がこめられた。その瞬間、なんだか重大なことを任されたような気がして、思わず反論の続きをのみこんだ。

……わかった。任せといて。わたし、部長さんだもんね。

わたしはうなだれている小柴さんの前に立って、つばを飲みこみ——思いっきり□□を下げた。

「ごめんなさいっ！」

「えっ!? な、なんで急に……」

「だって、わたしたち、勝手なことばかり言ってるから。本当に、ごめんなさい」

小柴さんからしたら、本当にいい迷惑だ。いきなり押しかけてきたと思ったら、勝手な理屈で文句を言われて。わたしたちは何様なんだ、って話。

「だけどね、高峰さんは、わたしたちとは違うよ。きつと、ぜんぜん違う。高峰さんは、小柴さんと友達になりたいって、本当に、ただそれだけなの」

小柴さんがどんな言葉遣いをしたって、どれだけ趣味が合わなかったって、きつと高峰さんにはこれっぽっちも関係ない。

「だって、そもそも小柴さんと友達になりたい理由が、『ただかわいいから』だもん。なんていうか、高峰さんは、本当の本当に、⑤そういう人だよ」

もしかしたら、小柴さんもわかっていたのかもしれない。だからこそ、近づいてほしくなかったのかもしれない。高峰さんのように、難しいことは全部抜きにして、他人の目とか言葉なんてまるで気にしないで、ただ自分の行きたい道をまっすぐに突っ走るといふのは、きつと小柴さんがあこがれていた生き方だから。

「高峰さんは……たしかにいい人かもしれないけど、でも、どうせ話したって、すぐにつまらなくなつて離れていくよ。だったら、最初から一人のほうが楽」

小柴さんはそう言って、ぎゅつと本を抱えこんだ。

あと少しの距離が、埋まらない。わたしの言葉は、どうすれば彼女に届くんだらう。人の心に軽やかに触れることは、なんて難しいんだらう。

わたしがあこがれたお姉さんなら、こんなとき、なにを言う？

考えてみたけど、なにも浮かばない。

あたりまえだ。だって、わたしは、お姉さんじゃない。わたしなんだから、わたしでしかないんだから。

でも、伝えなきゃ。わたしの、わたしなりの、言葉で。

そう考えた瞬間、頭の中に懐かしい景色がよみがえった。小柴さんの姿が、  
⑥記憶の中の小さな女の子と重なる。

ああ、そうか。彼女はわたしがよく知っているあの子にどこか似ている。

「昔ね、わたしに、ひとりぼっちが平気だって言った人がいたんだ」

わたしが急にそんなことを言い出したので、小柴さんが驚いたように顔を上げた。その表情の微妙な変化を見ながら、わたしは言葉が続ける。

「わたしがいくら話しかけても遊びに誘っても、いっつも素っ気ないの。なんか、一人のほうが楽なんだって。だから、もう話しかけてくるなって。ひとりぼっちがさびしくない人だっているんだから、あんたの理屈で勝手なこと言うなって、そう言ったんだよ。しかもね、そのとき、まだ十歳くらいだったのに。信じられる？」

苦笑いでそう言うと、小柴さんの瞳が揺れた。彼女は口をつぐんだまま、小さく唇をかんでいる。

「でもね、その子、それを **三** な顔で言うの。すっごくさびしそうに。おかしいよね。わたし、思わず笑いそうになった」

笑いそうになったのに、気づいたら、泣いていたのだけだ。

「今、その人は……？」

「さあ、どうかなあ。でも、今はきつと、なんだかんだで友達と仲良くやってるんじゃないかなあ」

ね？

そうやって、わたしは視線を横に向けた。視線の先のひねくれ者は、不満げにふんと鼻を鳴らす。小柴さんもなにか気づいたのか、瞬きをしながら彼女を見つめている。九十九さんと門野くんも、つられて彼女に視線を送る。

「……うぜー。マジで」

わたしに対する口癖をこぼしながら、**二** に視線をそらした佳乃ちゃんは、一瞬だけ小柴さんに目を向けて、素っ気なく言った。

「つーか、本の世界で生きられたら、マジ幸せだよ。あたしだって、そのほうがずっといいわ。でも、結局いつか、本を閉じて生きなきゃいけないんだってさ。面倒だけど」

佳乃ちゃんはまるで他人事みたいにそう言って、本に添えられていた小柴さんの手を、ぺしっとはいた。

「残念だけどさ、一人で平気なんてのは、しよせん、ガキの逃げ口上みたいなもん。妥協したりぶつかったりして、疲れ切つて、でもなんつーか、それでも誰かとうまくやっていけるのが、本当の大人ってやつなんじゃないの？ それともなに？ 小柴はそんだけ大量の本読んできたわりに、頭も心もガキのままなの？ だったら本なんか読む意味ないし、捨てちゃえよ？」

佳乃ちゃんはそのすごい早口で一氣にまくし立てて、最後に半笑いで言った。

「小柴はたぶん、そんなにアホじゃないでしょう。……ま、知らねーけど」

あいかわらず素直すなおじゃない。でも、突き放すような言葉の奥おくに、⑦佳乃ちやんの本音を見た気がする。となりに立っていた九十九くと、なんとなく苦笑かいを交かわした。

(中略)

「小柴さん、また明日ね」

最後に、わたしはそう言つて小柴さんに笑いかけた。不思議そうな顔をしてる小柴さんに、そつと秘密を打ち明ける。

「じつはこれ、わたしとその人の、⑧ちよつとした合あい言葉ことばなの」

友達というのが、絶対に必要なものかどうか、正直、わたしにはわからない。

まして、学校という限られた場所で見つける必要があるのかなんて。

でも、学校や教室に友達がいると、とてもすてきなことがある。毎日のように、「また明日ね」って言えること。わたしが親友に教えてもらった、最高に幸せなこと。

(みうらかれん『おなやみ相談部』より。なお、本文中には省略等があります。)

\*1 関西弁のことを切り出す……九十九くんが、言葉のアクセントから小柴さんは関西人ではないかと言ったことで、関西人にあこがれる門野くんはぜひそのことも確かめたいと思つている。

\*2 偽善者……いかにも善人らしく見せかける人。

\*3 わたしがあこがれたお姉さん……八枝が小学校一年生の時、クラスメイトに悪口を言われ、傷ついて公園で泣いていたら、通りがかった中学生のお姉さん

が、優しく声をかけ話を聞いてくれた。それ以来、八枝の理想の人になった。

\*4 その人……八枝に昔「ひとりぼっちが平気だつて言った人」のこと。

問一  X・ Y・ Z に入る言葉として適当なものを、次のア～オ

の中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア 頭 イ 舌 ウ 額ひたい エ 眉まゆ オ 目

問二 線 a 「案の定」の意味として適当なものを、次のア～エの中から

一つ選び、記号で答えなさい。

ア 思いがけず イ いやいやながら

ウ 不安そうに エ 予想どおり

問三 線 b 「一触即発」と同じ意味をあらわす四字熟語を、次のア～エ

の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 九死一生 イ 一朝一夕いちちよういつせき ウ 危機一髪ききいつぱつ エ 一心不乱

問四  I・ II・ III・ IV に入る言葉として適当なものを、

次のア～エの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア 雷かみなりに打たれたよう イ 泣きそう

ウ 吐き捨てるようは エ バツが悪そう

問五 ——線①「佳乃ちゃんだけ、目を合わせてもくれない」とありますが、それはなぜですか。その理由を説明した次の文の空欄に入る適当な言葉を、二十五字以内で答えなさい。

佳乃ちゃんは、【二十五字以内】から。

問六 ——線②「さつきまで一瞬で丸くなる」とありますが、この時の小柴さんの心情として適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 怒り    イ 悲しみ    ウ 驚き    エ 喜び

問七 ——線③「思いつきり顔をしかめた」とありますが、ここから読みとれる小柴さんの様子として適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 関西人であることを知られると関東の人にはバカにされると思っている。必死でかくしていたのに、門野くんが気づいて、大げさにさわぎたてるので恥はずかしかつた。

イ 関西弁を話すだけで勝手におもしろい人間だと決めつけられるのがいやで、関西出身であることをかくしていたので、関西弁を無邪むじやき気に喜ぶ門野くんが腹が立った。

ウ 関西出身であることが苦痛で忘れようとしていたのに、関西人というだけで門野くんが異常にうらやましがるので、ばかばかしいとあき

れてしまった。

エ 関西出身であることを門野くんが見抜ぬいたことにびっくりしたが、門野くんが使う関西弁があまりにもわざとらしいので、関西人としてゆるせないと思った。

問八 ——線④「正反対なようだけど、よく似ているような気もする」とありますが、どのような点が似ているのですか。適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分にはない理想の個性を追い求めている点。  
イ 個性は努力して得られるものと考えている点。  
ウ 関西人が持つ独特の個性を気に入っている点。  
エ 実は個性というものはないとわかっている点。

問九 ——線⑤「そういう人」とありますが、「高峰さん」はどういう人ですか。解答欄に合うように本文中から五十五字以内で探し、はじめと終わりの五字を抜き出さない。

【五十五字以内】人。

問十 ——線⑥「記憶の中の小さな女の子」とありますが、それはだれのことですか。登場人物の名前を本文中から抜き出さない。

問十一 ——線⑦「佳乃ちゃんの本音」とありますが、その内容を説明した  
ものとして適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えな  
さい。

ア たくさんの本を読んでいる小柴さんだが、何を言っても通じない人  
だと、最初からバカにしている。

イ 本からたくさんの知識を得ている小柴さんだからこそ、その知識を  
生かして早く大人になってほしいと願っている。

ウ 自分よりもたくさん本を読んでいる小柴さんを警戒し、決して仲良  
くなりたくないと思っている。

エ 本をたくさん読んできた小柴さんなら、人と交わることの大切さを、  
きつとわかるはずだと信じている。

問十二 ——線⑧「ちょっとした合言葉」とありますが、これにはどのよ  
うな意味がありますか。解答欄に合うように、三十字以内で答えなさい。

【三十字以内】【ことの確認。】

□ 「生命誌」(科学によっていのちのあり方を探究する学問)を研究している

中村桂子さんが書いた次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「わたしたちは生きものです」——普通だったらここであいう「わたしたち

とは、この文を書いているわたしやあなたを含む人間をさすことになるでしょう。犬や猫がこれを読むことはないでしょうし、ましてや、台所の隅でゴキブリがフムフムとページを繰るはずがありません。

なにをバカなことをいつているのだといわれそうですが、そうもいつていられないことを、現代生物学が明らかにしたのです。

地球上には数千万種ともいわれる多種多様な生きものが暮らしています。海の中に棲むもの、大空を舞うもの……大きさも形も暮らし方もさまざまです。

□ 一、生物学の研究により、これほど多様な生きものが、すべて細胞でできており、その中にあるDNA(生きていることを支える基本物質)は、みなおなじはたらき方をしていくことがわかりました。□ 二 人間もそのよ

うな生きものの一つです。すべての生きものが、偶然おなじ物質を基本にしたとは考えにくいので、①これは地球上の生きものすべてが、共通の祖先から生まれたなかまであることを意味しているのだと考えます。

共通の祖先は38億年ほど前の海の中にはいたことがわかっていますので、どの生きものも例外なく長い歴史を持っています。わたしのAセンモンである「生命誌」は、すべての生きものもつ細胞の中のDNA(中略)に

書かれている② 物語を読みとることです。たとえば、あなたのDNAは、

両親から受け継いだものですし、両親はそのまた両親からDNAを受け継いでいます。……こうやってたどっていくと、生命Bタンシヨウのとき、III 38億年ほど前に戻ります。

実は台所のゴキブリもおなじ生命タンシヨウのときに戻ります。今ここにいる生きものはみんな、38億年という歴史を背負っており、その中で共通性をもち、IV 一つ一つが特徴をもちながら生きている。それが生きもの世界です。

「わたしたちは生きものです」といったときの「わたしたち」は、犬も猫もゴキブリも含めて、「みんなおなじなまたね」という意味をもっています。これは科学という現代の学問が明らかにした事柄ですが、実は日本人は古くからある文化の中で、自然の中で生きることをだいにして、「生きものはみんなおなじなまたね」という気持ちをもち続けてきたのではないのでしょうか。

最近DNAという言葉をよく聞きますが、それはたいいてい、生きものの性質や能力を決めているものとして使われているような気がします。そうではなく、生命誌からみたら、DNAは自分と現在いっしょに生きているなまたちとのつながりだけでなく、遠いむかしに生きたなまや未来に生きるであろうなままとのつながりも教えてくれるものなのです。大きなつながりを実感させるものとしてDNAを受け止めると、とても大らかな気持ちにな

り、大らかな存在になることができます。

ときどき、「なぜ生きものを殺してはいけないのだろう」と思うことがあります。ませんか。困ったことにわたしたちは他の生き物のいのちをいただかずには生きていけないようになっていきますから、きれいなことをいってすましてはいられません。決して殺してはいけないとはいえないのです。

でも、どんな生きものにも38億年という長い歴史があると思うだけで、その重みはわかるでしょう。いのちのたいせつさを考えずにただ生命を③ないがしろにすることは、やっではないけないことです。たいせつと思いつながら生命を奪われずすまされないので生きるということ。生きるってとてもむずかしいことですね。

「DNAから大きなつながりとひろがりを感じて、生命を基本に置いて暮らす社会にしたい」。④それが、生命誌研究の求めていることです。

(中略)

長い長い時間、地球上にいるすべての生きもの、このような大きな広がりの中でつながっているのが、生きものの特徴です。いのちをたいせつにするということは、このつながりをたいせつにすることと考えてよいと思います。どんな小さな生きものも、遠くに暮らしているよその国の人たちも、みんな自分とつながっているという気持ちをもてたら、学校でいっしょに生活している先生や友だちとはもっと強いつながりを感じることができるでしょう。

でも、ちよつとCコトワつておかなければならないことがあります。生きものはすべて、いつかのちをDウシナうものでもあるということ。そ

れだけでなく食事をすると、必ずほかの生きもののいのちをいただくことになります。たいせつにするといいながら、いのちあるものを食べなければ生きていけないのです。Eフクサツですね。食べないわけにはいきませんから、いただきます、といつて、⑤を感じながらいていねいに食べるのがいいでしょう。

生きているということはこのように、とてもすばらしいことでありながら、めんどろなこともあります。だから、自分で考え続けていかなければならないのです。考えるとなるほどと思うことが出てきます。ぜひ、自分でなるほどと思うことを探してください。そして生きることをたいせつにしましょう。

(中村桂子『あそぶ 12歳の生命誌』より。なお、本文中には省略等があります。)

問一 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳに入る言葉として適当なものを、

次のア～カの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア つまり      イ もしも      ウ もちろん  
エ ところが      オ たとえば      カ しかも

問二——線①「これは〜と考えます」とありますが、筆者がこのように考  
えるのはなぜですか。本文中の言葉を使って四十字以内で説明しなさい。

問三 ②に入る言葉を、本文中から漢字二字で抜き出しなさい。

問四——線③「ないがしろにする」の意味として適当なものを、次のア  
エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア まともにとりあつかわない    イ むやみやたらに消費する  
ウ うっかり忘れてしまう    エ もともとの意味がうすれる

問五——線④「それが、生命誌研究の求めていることです」とありますが、  
生命誌におけるDNAと、一般的なDNAについて、筆者はどのように  
考えていますか。次の各問いに答えなさい。

(1) 生命誌におけるDNAの考え方を本文中から四十字程度で探し、はじめ  
と終わりの五字を抜き出しなさい。

(2) 一般的なDNAの考え方を二十字以内で探し、はじめと終わりの五字を  
抜き出しなさい。

問六 ⑤に入る言葉を本文中の言葉を使って、ひらがな八字で答えなさい。

い。

問七 次のア～オについて、本文の内容として正しいものには○を、そうで  
ないものには×を記しなさい。

ア 現代生物学は、すべての生きものが同じ物質をもとにして多種多様  
に発展していったということを明らかにした。

イ 人間と昆虫であるゴキブリとは全く異なるDNAをもっており、  
それぞれ別の特徴を持っているためつながりはない。

ウ どんな生きものにも時空を超えたつながりがあるため、大切にすべ  
きだが、生きるためにはいのちあるものを食べなくてはならない。

エ 人間は一人ひとり全く別のDNAをもっており、両親や祖先から同  
じDNAを受け継ぐことはない。

オ 生きものはみなおなじなかまだという日本人の考え方は、「生命誌」  
の考え方の基礎となっている。

問八 線A 「センモン」・B 「タンジョウ」・C 「コトワ(つて)」・

D 「ウシナ(う)」・E 「フクザツ」のカタカナを漢字に直しなさい。